

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
 神奈川 碩心 会 発行

11年 3月現在 逗葉大 (合)	地区 地区 地区 計	会員数 132名 191名 33名 356名	11年 4月 (321号)	発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
------------------------	---------------------	------------------------------------	---------------	----------------------------

## 行事予定

○第21回 碩心会吟道温習会

日時・6月27日(日) 9時30分より

場所・図書館ホール3階

本年は新しい試みとして2名1組の「連吟  
 コンクール」を行います。ご参加ください。  
 課題吟

天草洋に泊す (1-66) 述懐 (1-68)

胄山の歌 (3-37) 笛を聞く (4-27)

無題 (4-43)

○第四回神奈川県本部年齢別吟詠大会

日時・5月4日(休)

漢詩の部 高橋友山(幸和)

3月号に一名記載洩れがありました。

○横須賀第二地区吟行会 (東山温泉)

日時・10月3日(日)〜4日(月) 一泊二日

参加費・二万八千円 バス利用

10月3日7時 逗子発 蓮田SA

那須高原SA 猪苗代湖畔(昼食)

野口英世記念館 飯盛山 東山温泉(泊)

10月4日9時 東山温泉発 五色沼(昼食)

猪苗代IC 19時逗子着の予定

申込メ切・5月10日

総務部長 松井正岳まで

○第110回全国大会(名古屋)参加吟行会

10月16日(土)〜17日(日)全国大会 18日(月)

参加費・五万二千元 全行程バス利用

日程・コース及び各地の出発時間

10月16日7時 横須賀 7時30分 横浜

8時 平塚

足柄SA(全車合流) 久能山 東照宮

日本平パークセンター(昼食)

登呂遺跡 浜名湖 長島温泉(泊)

10月17日8時 ホテル出発 名古屋公会堂

の全国大会参加 長良川温泉(泊)

10月18日8時30分 ホテル出発 熱田神宮

瀬戸ハマナコスタ(昼食)

館山寺フラワーパーク 平塚 横浜

横須賀(18時40分頃着の予定)

申込メ切・5月5日

参加の方は氏名を先にお知らせください。

費用は追って集めます。

総務部長 松井正岳まで

☎〇四六八一五六―九二三二

# 昇伝認許

(4月1日付)

- (初段 6名)  
 499 角田一男  
 497 藤井宣夫  
 494 宗 環  
 (二段 6名)  
 490 前田宏道  
 486 大野一郎  
 473 遠藤裕子  
 (初伝 5名)  
 480 野崎幸子(幸泉)  
 476 地現星子(星泉)  
 472 森みのる(実泉)  
 (三段 3名)  
 500 生田浦子(豊泉)  
 454 上野マサミ(花泉)  
 (四段 2名)  
 456 宮崎京子(京泉)  
 (中伝 4名)  
 441 野邑里見(里山)  
 425 菊地君子(君山)  
 (五段 6名)  
 403 越水悦子(悦山)  
 498 藤井正子  
 496 岸川芳江  
 492 森 りつ  
 487 角田勝彦  
 485 山盛和子  
 465 角田邦子  
 478 中村節子(瑞泉)  
 475 熱田英之(芝泉)  
 470 中尾益男(松泉)  
 455 高橋俊子(俊泉)

- 400 中尾邦廣(廣山)  
 374 河田好枝(好山)  
 (六段 7名)  
 378 植村純一(粹山)  
 376 林田静子(静山)  
 371 山本 進(新山)  
 368 山本幸雄(幸山)  
 (奥伝 4名)  
 341 牛尾昭二(昭風)  
 339 橋本登美代(洋風)  
 (七段 1名)  
 292 野末三雄(雄風)  
 (八段 6名)  
 258 植村和成(成風)  
 253 神藤葉子(葉風)  
 232 沼田東治(東風)  
 399 牧野江佐子(江山)  
 357 加藤 力(力山)  
 377 佐野ミサコ(雅山)  
 375 黒田慶子(慶山)  
 370 渡辺叶子(紅山)  
 340 嘉山シヅ子(静風)  
 338 和田みや子(美風)  
 255 岸田 浩(浩風)  
 250 鈴木一男(叡風)  
 249 金子憲子(憲風)

## 春季審査会に想う

長柄支部 中尾 松 泉

今年も3月27日(土)逗子図書館ホールに於て春季審査会が行われた。丁度2年前の4月に頑心会に入会し、今回が四回目の受審で三段であった。審査会に先だち、毎回会長さんや

審査員の先生方から緊張しないように、リラックスして受審するように注意がありますが例外はあるものの、実際にはなかなかそうもゆかず、程度の差はあれ固くなるのは仕方ないことか。結局場数を経験するしかないということではないだろうか。

かく言う私も今回は不本意ながら緊張のせいか、スタートが高音になり誠にお粗末な吟となり、返すがえすも残念に思った。途中でやり直しする勇気のなかったことが悔まれる。さて50数年前の中等学校時代に校長先生が詩吟の愛好者であり、自分も興味をもった当時の記憶がなぜか心に残っていたこともあり70才を過ぎての入会となった。(もう10年も早く入会しておればと悔まれるが)とにかくこの歳で「吟」の上達は望めないが体力(声力)のつづく限り詩吟を愛し、楽しみながら頑張つて吟友との交流を深めてゆきたいものである。



# 唯一の友は詩吟

堀内・D 鈴木 叡 風

小生今年86才…。いささか長く生き過ぎた  
ように、功乏しきをかこちながらも、心暖か  
い方々に支えられて、木曜日になるとせつせ  
と中村教場に向きます。女性の方達の暖か  
い雰囲気の中、男性は唯一人で、黒一点とい  
うことです。座につくと、何か位負けたみ  
たいですが、心の中は楽しさを感じます。自  
宅での吟の稽古量は小生が断然多いと思っ  
ますが、年のせいも、時折音程をはずし注  
意されます。

詩吟を習い始めたのは、若い頃の将棋友達  
根岸新治君（故人）からでした。足腰の痛み  
心筋梗塞の持病などに悩む小生に、唯一の友  
は詩吟なのです。当時誘われるままに、逗子  
にあった碩心会の教室に入りました。松井  
先生（故人・岳風先生の直弟子）もお見えに  
なつて、豪快な吟法を聞かせていただきました。  
それは今でも記憶から去りません。しか  
し友人の死により、小生の詩吟も中断しま  
した。

その後中村教場に入門し、十年近くが過ぎ  
ました。健康上何もできなくなつた折、唯一  
の趣味として残つたのが詩吟です。短音階を  
基本として、剛気の中に、やや哀調を秘めた  
節まわしが好きなのです。有名な民謡の中  
にも詩吟と相通するものを感じます。

先日八段の査定を受けました。実力のそな  
わつた多くの先生のいらつしやるのを知り、  
その方々に近づくことは、人生晩年を迎えつ  
つある小生のよろこびです。吟の上達は余り  
望めませんが、気品のある吟法を目標に勉強  
します。

## 明治茅崎八景

松和支部 宇都宮 徳 岳

水戸八景、近江八景、金沢八景、等各地に  
瀟湘八景に擬して、八景の漢詩があります。  
茅崎市にも八景の名所指定はあるのに、漢詩  
らしいものが見当りませんので作詞しました。  
現在その風景を残すものが少ないのは明治  
初期の指定なので、地形（地物）が大分変化  
してしまつた為で、私はその時代に思いを致  
しまして作詩した次第で「明治茅崎八景」と  
しました。

明治茅崎八景 宇都宮 徳岳作

南湖、松籟、清晴嵐、南湖の松籟晴嵐に清く

鶴嶺、暮雪、蔵茅庵、鶴嶺の暮雪茅庵を蔵す

柳島、蘆渚、看落雁、柳島の蘆渚に落雁を看

真崎、夜雨、春潮探、真崎の夜雨に春潮を探る

鳥居戸、畔、擅夕照、鳥居戸の畔夕照を擅にし

姥島、帰舸、帆、浮藍、姥島の帰舸の帆は藍に浮ぶ

八雲、晚鐘、隣里響、八雲の晚鐘隣りに響き

高砂、明月、秋色、酣、高砂の明月秋色酣わなり

明治百歳、陵谷改まり、明治百歳陵谷改まり

茅崎八景、情何堪、茅崎八景情何ぞ堪えん

（七言古詩下平声十三覃一韻到底格）

## 入会に思う

堀内支部(B) 角田 一 男

昨年9月に皆様のお仲間に入れていただいたから、早いもので半年が経ちました。

音程を何本と言ったり、節調の種類を揺り止め、揺り下がり等。教室の皆さんが普段お使いになる言葉の意味がわからず、その都度説明していただき、何とか今回の審査会に出られる迄にさせていただきました。これも加藤岳洵先生の熱の入ったご指導と、教室の皆様のご協力によるものと衷心より感謝申し上げます。

そもそも皆様のお仲間に入れて頂くきっかけは、世間のサラリーマンと同様、麻雀、ゴルフ、釣等を趣味としておりましたが、定年後の事を見据えて何とかもう一つ趣味を増やしたいと思っておりました。そんな話を友人にしたところ、詩吟はどうかと言うことになり、たまたま友人の母親が碩心会の会員だった事もあり話がトントン拍子に進み、紹介して頂いた教室のメンバーの中に中学校時代の同級生がいられて、不思議な縁を感じました。今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。

## 短歌

堀内E 西岡晴岳

世に在らば孫もありなむ夢なれや

学帽被りて母に甘ゆる

十三回忌迎へる我が子の年数ふ

八十路過ぎたる母のせつなさ

梅の花かすかに香り耳老いし

我に告げるか春のおとずれ

## 俳句

唐木山 寺脇宇岳

春眠やいつとはなしに齡重ね

一片の地を残さず落花かな

風早 後藤道岳

咲き満ちて山桜また山ざくら

教会の鐘にしぐるる春の山

笹子鳴くあたり一族眠る墓

悠吟 三壁照岳

黒潮の潮目くつきり実朝忌

鎮もれる椿の御所や椿落つ

初桜うたたねの子の片えくぼ

## 退会

17 秋元岳梁(上山口) 56 長島玉岳(風早)

248 中村悌風(風早) 250 鈴木恵風(逗子A)

## 訂正

470 中村益男を中尾に訂正

496 岸川芳子を芳江に訂正

## 編集後記

春爛漫、路地の片隅に小さな花をつけている草花にも、花の命、よろこびを感じ生きている力強さを覚えます。昇伝審査も終り、次までホット一息されていると思います。

今回の4月号にも審査を受けられた方々が寄稿されましたが、詩吟に対して真剣に取り組み、その中から得るものを大切にして、それぞれの人生に価値を高めていることは、年齢に関係なく素晴らしいことと受けとめました。まさに樹々の息吹のように、生命の喜びではないでしょうか。

会員増強が叫ばれている折、詩吟は一生の友として、また生きる杖ともなり、楽しい人生の出会いがあることも含めて会員が一人づつ誘ってみては如何でしょうか。何よりも健康増進になることを特に声を大にして：